

新 旧 表

ページ	現 行	改 正																												
P25	<p style="text-align: center;">表 5. 1 適用建設機械</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 区 分</th> <th style="width: 80%;">適 用 建 設 機 械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～63 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 系</td> <td>バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0 m³以上～2.1 m³以下 （平積 0.7 m³以上～1.5 m³以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4 m³以上～0.6 m³以下</td> </tr> <tr> <td>ク ロー ラ ク レ ー ン 系</td> <td>クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16 t 以上～300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・機械ロープ式〕 平積 0.6 m³以上～3.0 m³以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 50～55 t 吊〕</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 80 t 以上～550 t 以下</td> </tr> <tr> <td>ク ロー ラ 式 杭 打 機</td> <td>ディーゼルハンマ（防音カバー装置除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 ア ー ス オ ー ガ 中 掘 式 機械質量 20 t 以上～150 t 以下</td> </tr> <tr> <td>オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機</td> <td>オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000 mm以下</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 区 分	適 用 建 設 機 械	ブ ル ド ー ザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～ 63 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下	バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0 m ³ 以上～2.1 m ³ 以下 （平積 0.7 m ³ 以上～1.5 m ³ 以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4 m ³ 以上～0.6 m ³ 以下	ク ロー ラ ク レ ー ン 系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16 t 以上～300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・ 機械ロープ式 〕 平積 0.6 m ³ 以上～3.0 m ³ 以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 50～55 t 吊〕	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 80 t 以上～550 t 以下	ク ロー ラ 式 杭 打 機	ディーゼルハンマ（防音カバー装置除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 ア ー ス オ ー ガ 中 掘 式 機械質量 20 t 以上～150 t 以下	オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000 mm以下	<p style="text-align: center;">表 5. 1 適用建設機械</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 区 分</th> <th style="width: 80%;">適 用 建 設 機 械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～44 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 系</td> <td>バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0 m³以上～2.1 m³以下 （平積 0.7 m³以上～1.5 m³以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4 m³以上～0.6 m³以下</td> </tr> <tr> <td>ク ロー ラ ク レ ー ン 系</td> <td>クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16 t 以上～300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式〕 平積 0.6 m³以上～3.0 m³以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 50～55 t 吊〕</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 100 t 以上～550 t 以下</td> </tr> <tr> <td>ク ロー ラ 式 杭 打 機</td> <td>ディーゼルハンマ（防音カバー装置除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 ア ー ス オ ー ガ 中 掘 式 機械質量 20 t 以上～150 t 以下</td> </tr> <tr> <td>オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機</td> <td>オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000 mm以下</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 区 分	適 用 建 設 機 械	ブ ル ド ー ザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～ 44 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下	バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0 m ³ 以上～2.1 m ³ 以下 （平積 0.7 m ³ 以上～1.5 m ³ 以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4 m ³ 以上～0.6 m ³ 以下	ク ロー ラ ク レ ー ン 系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16 t 以上～300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式〕 平積 0.6 m ³ 以上～3.0 m ³ 以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 50～55 t 吊〕	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 100 t 以上～550 t 以下	ク ロー ラ 式 杭 打 機	ディーゼルハンマ（防音カバー装置除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 ア ー ス オ ー ガ 中 掘 式 機械質量 20 t 以上～150 t 以下	オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000 mm以下
機 械 区 分	適 用 建 設 機 械																													
ブ ル ド ー ザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～ 63 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下																													
バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0 m ³ 以上～2.1 m ³ 以下 （平積 0.7 m ³ 以上～1.5 m ³ 以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4 m ³ 以上～0.6 m ³ 以下																													
ク ロー ラ ク レ ー ン 系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16 t 以上～300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・ 機械ロープ式 〕 平積 0.6 m ³ 以上～3.0 m ³ 以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 50～55 t 吊〕																													
ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 80 t 以上～550 t 以下																													
ク ロー ラ 式 杭 打 機	ディーゼルハンマ（防音カバー装置除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 ア ー ス オ ー ガ 中 掘 式 機械質量 20 t 以上～150 t 以下																													
オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000 mm以下																													
機 械 区 分	適 用 建 設 機 械																													
ブ ル ド ー ザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～ 44 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下																													
バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0 m ³ 以上～2.1 m ³ 以下 （平積 0.7 m ³ 以上～1.5 m ³ 以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4 m ³ 以上～0.6 m ³ 以下																													
ク ロー ラ ク レ ー ン 系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16 t 以上～300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式〕 平積 0.6 m ³ 以上～3.0 m ³ 以下 パイプロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 50～55 t 吊〕																													
ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 100 t 以上～550 t 以下																													
ク ロー ラ 式 杭 打 機	ディーゼルハンマ（防音カバー装置除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 ア ー ス オ ー ガ 中 掘 式 機械質量 20 t 以上～150 t 以下																													
オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000 mm以下																													

新 旧 表

ページ	現 行	改 正												
P25	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="463 268 753 583" rowspan="2">地 盤 改 良 機 械</td> <td data-bbox="753 268 1540 359"> 中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="753 359 1540 583"> サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量 20 t 以上～180 t 以下 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="463 583 753 768">トンネル用機械</td> <td data-bbox="753 583 1540 768"> 自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20 t 以上～60 t 以下 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="463 768 753 905">連続地中壁用機械</td> <td data-bbox="753 768 1540 905"> 地下連続壁施工機〔回転水平多軸・クローラ式〕 壁厚—1,200～2,400 mm 壁厚—650～1,500 mm </td> </tr> </table>	地 盤 改 良 機 械	中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量 20 t 以上～180 t 以下	トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20 t 以上～60 t 以下	連続地中壁用機械	地下連続壁施工機〔回転水平多軸・クローラ式〕 壁厚—1,200～2,400 mm 壁厚—650～1,500 mm	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1670 268 1961 583" rowspan="2">地 盤 改 良 機 械</td> <td data-bbox="1961 268 2748 359"> 中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1961 359 2748 583"> サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 プレファブリケイティッドパーチカルドレーン打機 機械質量 20 t 以上～180 t 以下 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1670 583 1961 768">トンネル用機械</td> <td data-bbox="1961 583 2748 768"> 自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20 t 以上～60 t 以下 </td> </tr> </table>	地 盤 改 良 機 械	中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 プレファブリケイティッドパーチカルドレーン打機 機械質量 20 t 以上～180 t 以下	トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20 t 以上～60 t 以下
地 盤 改 良 機 械	中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下													
	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量 20 t 以上～180 t 以下													
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20 t 以上～60 t 以下													
連続地中壁用機械	地下連続壁施工機〔回転水平多軸・クローラ式〕 壁厚—1,200～2,400 mm 壁厚—650～1,500 mm													
地 盤 改 良 機 械	中層混合処理機 機械質量 20t 以上～120t 以下													
	サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 プレファブリケイティッドパーチカルドレーン打機 機械質量 20 t 以上～180 t 以下													
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20 t 以上～60 t 以下													

新 旧 表

ページ	現 行				改 正							
P26～P27	表5.2 クレーンの規格選定				表5.2 クレーンの規格選定							
	機 械 区 分		規 格	分 解 組 立 用 ク レ ー ン		機 械 区 分		規 格	分 解 組 立 用 ク レ ー ン			
				機 械 名	規 格				機 械 名	規 格		
	バックホウ系 オールケーシング掘削機 (クローラ式) トンネル用機械		表5.1参照	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊	バックホウ系 オールケーシング掘削機 (クローラ式) トンネル用機械		表5.1参照	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊		
	ブルドーザ		21t級以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊	ブルドーザ		21t級以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊		
			44t級以下		50t吊			44t級以下				
			63t級以下									
	地盤 改良 機械	中層混合処理機	質量60t以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊	中層混合処理機	質量60t以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊			
			質量120t以下		50t吊		質量120t以下					
		サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 深層混合処理機 <u>ペーパードレーン</u> 打 機	質量60t以下			質量180t以下	質量180t以下		サンドパイル打機 粉体噴射攪拌機 深層混合処理機 <u>フレックスティッドバーチカル</u> 打 機	質量60t以下	質量180t以下	質量180t以下
質量120t以下			60t吊							質量120t以下		
クローラクレーン系		35t吊以下 (クラムシェル 平積0.6m ³ 含む)	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊	クローラクレーン系		35t吊以下 (クラムシェル 平積0.6m ³ 含む)	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊			
		80t吊以下 (クラムシェル 平積2.0m ³ 以下含む)					50t吊			80t吊以下 (クラムシェル 平積2.0m ³ 以下含む)		
		150t吊以下 (クラムシェル 平積3.0m ³ 以下含む)		50t吊					150t吊以下 (クラムシェル 平積3.0m ³ 以下含む)			
		300t吊以下							300t吊以下			
トラッククレーン系		表5.1参照	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	50t吊	トラッククレーン系		表5.1参照	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	70t吊			
							200t吊以上 360t吊以下			<u>リフター[せり上げ能力]</u>		
							550t吊以下		<u>50t</u>			

新 旧 表

ページ	現 行				改 正					
P26～P27	クローラ式杭打機		質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	50 t 吊	クローラ式杭打機		質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	60 t 吊
			質量 100 t 以下					質量 100 t 以下		
			質量 150 t 以下					質量 150 t 以下		
	オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕		表 5.1 参照	クローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)]	60～65 t 吊	オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕		表 5.1 参照	クローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)]	60～65 t 吊
			表 5.1 参照 〔本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排出ガ ス対策型 (第3次基準 値)] 70t 吊を使用する場 合〕	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)]	70t 吊			表 5.1 参照 〔本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排出ガ ス対策型 (第3次基準 値)] 70t 吊を使用する場 合〕	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)]	70t 吊
			表 5.1 参照 〔本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排出ガ ス対策型 (第3次基準 値)] 100t 吊を使用する場 合〕	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)]	100t 吊			表 5.1 参照 〔本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型排出ガ ス対策型 (第3次基準 値)] 100t 吊を使用する場 合〕	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)]	100t 吊
			表 5.1 参照 〔本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型・排出 ガス対策型 (2011 年規 制)] 100t 吊を使用する場 合〕	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (2011年規制)]				表 5.1 参照 〔本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型・排出 ガス対策型 (2011 年規 制)] 100t 吊を使用する場 合〕	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (2011年規制)]	

新 旧 表

ページ	現 行	改 正				
P26～P27	<table border="1" data-bbox="394 321 1546 501"> <tr> <td data-bbox="394 321 750 501">連続地中壁用機械 〔地下連続壁施工機〕</td> <td data-bbox="750 321 1086 501">表5.1参照</td> <td data-bbox="1086 321 1383 501">ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 （第2次基準値）〕</td> <td data-bbox="1383 321 1546 501">45t吊</td> </tr> </table> <p data-bbox="468 510 1567 678">(注) 1. <u>ラフテレーンクレーン、クローラクレーンは賃料とする。</u> <u>ただし、オールケーシング掘削機〔スキッド式〕の分解組立用クローラクレーンは損料とする。</u> <u>2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</u></p>	連続地中壁用機械 〔地下連続壁施工機〕	表5.1参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 （第2次基準値）〕	45t吊	<p data-bbox="1679 510 2778 810">(注) 1. <u>ラフテレーンクレーン、リフターは賃料とし、クローラクレーンは損料とする。</u> <u>なお、リフター（せり上げ能力50t）の供用1日あたり賃料は224,000円を標準とする。</u> <u>（オペレーター、燃料油脂費を含み、回送、運搬費は含まない。）</u> <u>2. 現道上および高架下等のラフテレーンクレーンによる分解組立作業が困難な場合は、リフターを使用することができる。</u> <u>3. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</u></p>
連続地中壁用機械 〔地下連続壁施工機〕	表5.1参照	ラフテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 （第2次基準値）〕	45t吊			

新 旧 表

ページ	現 行						改 正						
P27~P29	(ロ) 歩掛 分解・組立1台1回当り歩掛は、次表を標準とする。 表5.3 歩 掛						(ロ) 歩掛 分解・組立1台1回当り歩掛は、次表を標準とする。 表5.3 歩 掛						
	機 械 区 分	規 格	機 械 質 量 区 分	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解+組 立〕	クレーン 運転歩掛 (日) 〔分解+組 立〕	運搬費 等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)	機 械 区 分	規 格	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解+組 立〕	クレーン 運転歩掛 (日) 〔分解+組 立〕	運搬費 等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)
	ブ ル ド ー ザ	21 t 級以下	<u>＝</u>	2.8	2.1	<u>134</u>	21	ブ ル ド ー ザ	21 t 級以下	2.8	2.1	<u>155</u>	21
		44 t 級以下	<u>＝</u>	4.6	3.4	<u>132</u>	21		44 t 級以下	4.6	3.4	<u>153</u>	21
		63 t 級以下	<u>＝</u>	8.4	6.2	90	14						
	バ ッ ク ホ ウ 系	山積 1.4 m ³ 以下 油圧クラムシェル ・テレスコピック 0.4 m ³ 以上 0.6 m ³ 以下含む	<u>＝</u>	2.7	1.4	<u>216</u>	24	バ ッ ク ホ ウ 系	山積 1.4 m ³ 以下 油圧クラムシェル ・テレスコピック 0.4 m ³ 以上 0.6 m ³ 以下含む	2.7	1.4	<u>250</u>	24
		山積 2.1 m ³ 以下	<u>＝</u>	4.5	2.3	<u>221</u>	25		山積 2.1 m ³ 以下	4.5	2.3	<u>256</u>	25
	ク ロー ラ ク レ ー ン 系	35 t 吊以下 クラムシェル 平積 0.6 m ³ 含む	<u>＝</u>	3.0	0.8	<u>384</u>	22	ク ロー ラ ク レ ー ン 系	35 t 吊以下 クラムシェル 平積 0.6 m ³ 含む	3.0	0.8	<u>444</u>	22
		80 t 吊以下 クラムシェル 平積 2.0 m ³ 以下含む	<u>＝</u>	5.5	1.5	<u>375</u>	21		80 t 吊以下 クラムシェル 平積 2.0 m ³ 以下含む	5.5	1.5	<u>434</u>	21
		150 t 吊以下 クラムシェル 平積 3.0 m ³ 以下含む	<u>＝</u>	11.3	3.1	<u>287</u>	16		150 t 吊以下 クラムシェル 平積 3.0 m ³ 以下含む	11.3	3.1	<u>315</u>	<u>15</u>
		300 t 吊以下	<u>＝</u>	20.5	5.7	<u>286</u>	16		300 t 吊以下	20.5	5.7	<u>313</u>	<u>15</u>
	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	120 t 吊以下	<u>＝</u>	4.3	1.5	<u>439</u>	97	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 系	120 t 吊以下	4.3	1.5	<u>394</u>	<u>75</u>
		160 t 吊以下	<u>＝</u>	5.7	1.9	<u>454</u>	100		160 t 吊以下	5.7	1.9	<u>409</u>	<u>78</u>
		360 t 吊以下	<u>＝</u>	11.7	4.0	<u>443</u>	97		360 t 吊以下	11.7	4.0	<u>399</u>	<u>75</u>
		550 t 吊以下	<u>＝</u>	20.9	7.1	<u>446</u>	98		550 t 吊以下	20.9	7.1	<u>401</u>	<u>76</u>
								200t吊以上 360t吊以下 (リフターを使用する 場合)	<u>11.0</u>	<u>2.7</u>	<u>392</u>	<u>83</u>	
								550t吊以下 (リフターを使用する 場合)	19.4	4.9	390	83	

新 旧 表

ページ	現 行							改 正						
P27～P29	クローラ式杭打機	—	<u>60t以下</u>	8.6	2.1	<u>148</u>	2	クローラ式杭打機	<u>60t以下</u>	8.6	2.1	<u>163</u>	2	
		—	<u>100t以下</u>	15.5	3.7	<u>149</u>	2		<u>100t以下</u>	15.5	3.7	<u>164</u>	2	
		—	<u>150t以下</u>	23.5	5.6	<u>148</u>	2		<u>150t以下</u>	23.5	5.6	<u>163</u>	2	
	オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕	—	=	3.9	3.4	<u>515</u>	5	オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕	—	3.9	3.4	<u>595</u>	5	
	オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕	—	=	4.9	11.9 (h)	<u>483</u>	4	オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕	—	4.9	11.9 (h)	<u>558</u>	4	
		〔本体工事でクローラ クレーン〔油圧 駆動 式ウインチ・ ラチス ジブ型排出 ガス対策型（第3次 基準値）〕70t 吊を 使用する場合〕	=	4.9	11.9 (h)	<u>424</u>	4		〔本体工事でクローラ クレーン〔油圧 駆動 式ウインチ・ ラチス ジブ型排出 ガス対策型（第3次 基準値）〕70t 吊を 使用する場合〕	4.9	11.9 (h)	<u>490</u>	4	
		〔本体工事でクローラ クレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチス ジブ型排出ガス対策 型（第3次基準 値）〕100t 吊を使用 する場合〕	=	4.9	11.9 (h)	<u>320</u>	3		〔本体工事でクローラ クレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチス ジブ型排出ガス対策 型（第3次基準 値）〕100t 吊を使用 する場合〕	4.9	11.9 (h)	<u>370</u>	3	
		〔本体工事でクローラ クレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチス ジブ型排出ガス対策 型（2011年規制）〕 100t 吊を使用する 場合〕	=	4.9	11.9 (h)	<u>312</u>	3		〔本体工事でクローラ クレーン〔油圧駆動 式ウインチ・ラチス ジブ型排出ガス対策 型（2011年規制）〕 100t 吊を使用する 場合〕	4.9	11.9 (h)	<u>361</u>	3	

新 旧 表

P27～P29							
地盤改良機械	中層混合処理機	二	60t以下	16.0	2.4	229	4
		二	120t以下	41.2	6.3	190	3
	サンドパイル打機	二	60t以下	16.0	2.4	191	3
		二	120t以下	41.2	6.3	190	3
	粉体噴射攪拌機	二	120t以下	41.2	6.3	190	3
	深層混合処理機	二	180t以下	64.6	9.9	189	3
	ペーパードレーン打機	二	180t以下	64.6	9.9	189	3
トンネル用機械	二	二	5.4	2.0	503	8	
連続地中壁用機械 (地下連続壁施工機)		二	二	54.4	9.5	144	4
<p>(注) 1. 分解・組立の合計であり、内訳は分解 50%、組立 50%である。</p> <p>2. 標準的作業に必要な装備品・専用部品が含まれている。</p> <p>3. 運搬費等には、下記①～⑤の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じて計上する。</p> <p>①トラック及びトレーラによる運搬費 [往復] (誘導車、誘導員含む)</p> <p>②自走による本体賃料・損料</p> <p>③運搬中の本体賃料・損料</p> <p>④分解・組立時の本体賃料</p> <p>⑤ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用</p> <p>4. 諸雑費は分解・組立のみを計上する際に適用し、下記①～②の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>①分解・組立時の本体賃料</p> <p>②ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用</p> <p>3) その他</p> <p>(イ) 深層混合処理機 (二軸式 90kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量 180t 以下) を適用する。</p> <p>(ロ) 粉体噴射攪拌機 (単軸式 19.6kN・m×1) は、地盤改良機械 (機械質量 60t 以下) を適用する。</p> <p>(ハ) 粉体噴射攪拌機 (二軸式 55kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量 120t 以下) を適用する。</p> <p>(ニ) 粉体噴射攪拌機 (二軸式 90kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量 120t 以下) を適用する。</p>							
地盤改良機械	中層混合処理機	60t以下	16.0	2.4	265	4	
		120t以下	41.2	6.3	211	3	
	サンドパイル打機	60t以下	16.0	2.4	213	3	
		120t以下	41.2	6.3	211	3	
	粉体噴射攪拌機	120t以下	41.2	6.3	211	3	
	深層混合処理機	180t以下	64.6	9.9	210	3	
	プレアブリケイティッドパーチカドレーン打機	180t以下	64.6	9.9	210	3	
トンネル用機械	—	5.4	2.0	582	8		
<p>(注) 1. 分解・組立の合計であり、内訳は分解 50%、組立 50%である。</p> <p>2. 標準的作業に必要な装備品・専用部品が含まれている。</p> <p>3. 運搬費等には、下記①～⑤の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じて計上する。</p> <p>①トラック及びトレーラによる運搬費 [往復] (誘導車、誘導員含む)</p> <p>②自走による本体賃料・損料</p> <p>③運搬中の本体賃料・損料</p> <p>④分解・組立時の本体賃料</p> <p>⑤ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用</p> <p>4. 諸雑費は分解・組立のみを計上する際に適用し、下記①～②の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>①分解・組立時の本体賃料</p> <p>②ウエス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用</p> <p>3) その他</p> <p>(イ) 深層混合処理機 (二軸式 90kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量 180t 以下) を適用する。</p> <p>(ロ) 粉体噴射攪拌機 (単軸式 19.6kN・m×1) は、地盤改良機械 (機械質量 60t 以下) を適用する。</p> <p>(ハ) 粉体噴射攪拌機 (二軸式 55kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量 120t 以下) を適用する。</p> <p>(ニ) 粉体噴射攪拌機 (二軸式 90kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量 120t 以下) を適用する。</p>							

新 旧 表

ページ	現 行	改 正
P31	2-5 安全費 (2) 積算方法 ⑨ 安全用品等の費用	2-5 安全費 (2) 積算方法 ⑨ 安全用品等の費用 <u>(墜落制止用器具(フルハーネス型)を含む)</u>
P32	2-7 技術管理費 (2) 積算方法 (ニ) ICT建設機械に要する以下の費用 ・保守点検 ・システム初期費 ・3次元起工測量 ・3次元設計データの作成費用 <u>なお、システム初期費については、1工事当り使用機種毎に一式計上とする。ただし、施工箇所が点在する工事の場合は、箇所毎に計上しないこと。原則、1工事当り使用機種毎に一式計上するものとする。</u>	2-7 技術管理費 (2) 積算方法 (ニ) ICT建設機械に要する以下の費用 ・保守点検 <u>(施工箇所が点在する工事においては、施工箇所毎の施工数量によるものとするため、箇所毎に必要額を計上するものとする。)</u> ・システム初期費 <u>(1工事当り使用機種毎に一式計上とする。施工箇所が点在する工事の場合は、箇所毎に計上するのではなく、1工事当り使用機種毎に一式計上とする。)</u> ・3次元起工測量・3次元設計データの作成費用
P33	2-8 営繕費 (2) 積算方法 1) イ. M: 月数(必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、 <u>少数1位止め</u> とする。)	2-8 営繕費 (2) 積算方法 1) イ. M: 月数(必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、 <u>第1位</u> とする。)
P34	2-8 営繕費 (2) 積算方法 1) ロ.(ロ) a. <u>2~4年</u> の場合は、上表損料の40%増とする。	2-8 営繕費 (2) 積算方法 1) ロ.(ロ) a. <u>2年を超え4年以下</u> の場合は、上表損料の40%増とする。
P35	2-8 営繕費 (3) 除雪工事で営繕費の補正を行う場合の共通仮設費率の補正 2) イ) 施工地域を考慮した補正係数を適用する場合 ・対象額(P) : 直接工事費+(支給品費+無償貸付機械等評価額)+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費 ・除雪工事補正共通仮設費率 : 共通仮設費率(Kr)×除雪工事補正係数(Sr) <u>(%)</u> ・除雪工事補正係数(Sr) : 現場事務所等を貸与する場合の割引補正係数 ・施工地域補正後の共通仮設費率: 共通仮設費率(Kr)×施工地域補正係数 <u>(%)</u> ・施工地域補正係数 : (2-1共通仮設費の率分(2)共通仮設費の補正)の施工地域を考慮した補正係数による 市街地補正係数の適用については、「2-1共通仮設費の率分(2)共通仮設費の補正1)施工地域・を考慮した共通仮設費率の補正及び計算」を参照のこと。 なお、除雪工事補正共通仮設費率及び施工地域補正共通仮設費率の値は、小数 <u>点以下</u> 第3位を四捨五入して <u>2位止め</u> とする。	2-8 営繕費 (3) 除雪工事で営繕費の補正を行う場合の共通仮設費率の補正 2) イ) 施工地域を考慮した補正係数を適用する場合 ・対象額(P) : 直接工事費+(支給品費+無償貸付機械等評価額)+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費 ・除雪工事補正共通仮設費率 <u>(%)</u> : 共通仮設費率(Kr)×除雪工事補正係数(Sr) ・除雪工事補正係数(Sr) : 現場事務所等を貸与する場合の割引補正係数 ・施工地域補正後の共通仮設費率 <u>(%)</u> : 共通仮設費率(Kr)×施工地域補正係数 ・施工地域補正係数 : (2-1共通仮設費の率分(2)共通仮設費率の補正)の施工地域を考慮した補正係数による 市街地補正係数の適用については、「2-1共通仮設費の率分(2)共通仮設費の補正1)施工地域・を考慮した共通仮設費率の補正及び計算」を参照のこと。 なお、除雪工事補正共通仮設費率及び施工地域補正 <u>後</u> の共通仮設費率の値は、小数第3位を四捨五入して <u>第2位</u> とする。

新 旧 表

P46	別表第3 一 般 管 理 費 等 率 (1) 前払金支出割合が35%を超え40%以下の場合	別表第3 一 般 管 理 費 等 率 (1) 前払金支出割合が35%を超え40%以下の場合															
	<table border="1"> <tr> <td>工 事 原 価</td> <td>500万円以下</td> <td>500万円を超え30億円以下</td> <td>30億円を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>一般管理費等率</td> <td>22.72%</td> <td>一般管理費等率算定式により算出された率</td> <td>7.47%</td> </tr> </table>	工 事 原 価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの	一般管理費等率	22.72%	一般管理費等率算定式により算出された率	7.47%	<table border="1"> <tr> <td>工 事 原 価</td> <td>500万円以下</td> <td>500万円を超え30億円以下</td> <td>30億円を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>一般管理費等率</td> <td>23.57%</td> <td>一般管理費等率算定式により算出された率</td> <td>9.74%</td> </tr> </table>	工 事 原 価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの	一般管理費等率	23.57%	一般管理費等率算定式により算出された率
工 事 原 価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの														
一般管理費等率	22.72%	一般管理費等率算定式により算出された率	7.47%														
工 事 原 価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの														
一般管理費等率	23.57%	一般管理費等率算定式により算出された率	9.74%														
P46	(2) 算定式 [一般管理費等率算定式] $G_p = -5.48972 \times \text{LOG}(C_p) + 59.4977$ (%) ただし、G _p ：一般管理費等率 (%) C _p ：工事原価 (単位円)	(2) 算定式 [一般管理費等率算定式] $G_p = -4.97802 \times \text{LOG}(C_p) + 56.92101$ (%) ただし、G _p ：一般管理費等率 (%) C _p ：工事原価 (単位円)															